

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。

■ ■ ■	学術研究プロジェクトシンポジウム	■ ■ ■
■ ■ ■	「エピゲノムとプロテオームの統合による	■ ■ ■
■ ■ ■	ヒトの生命と病気の解明」のご案内	■ ■ ■

日本プロテオーム学会員の皆様

日本プロテオーム学会 2012 年大会 (第 10 回 JHUPO 大会) が 7 月 26-27 日、高橋信弘先生が大会長として、日本科学未来館で行われます。多数の皆様のご参加をよろしくお願い致します。

それに合わせまして、大会翌日の 7 月 28 日に学術研究プロジェクトシンポジウム「エピゲノムとプロテオームの統合によるヒトの生命と病気の解明」(下記)が日本学術会議講堂で 13 時から開かれます。また、それに先立ち、同講堂で 10 時から『HUPO Human Proteome Projec: 染色体 X プロジェクト』会議を開きたいと思います。こちらにも皆様の多数のご参加をお願いいたします。

学術研究プロジェクトシンポジウム「エピゲノムとプロテオームの統合によるヒトの生命と病気の解明」は下記のことから行われることになりました。

平成 22 年に日本学術会議は「大型施設計画・大規模研究計画—企画・推進策の在り方」をまとめ、学術の全分野を網羅する 43 計画からなる大型施設計画・大規模研究計画のマスタープランを作成しました。その後、国際情勢、学術環境、社会的要請などの俯瞰的な視点、各分野の研究者コミュニティにおける議論・検討の進展に鑑みて、日本学術会議はその改訂についてのアンケート調査を行いました。その際、日本プロテオーム学会として「ヒトプロテオームプロジェクトへの日本の貢献: X 染色体」を平野前会長の指示で提案しました。平成 23 年になり、日本学術会議より、次の 4 つの関連提案を徳島大学の高浜先生がまとめ、一提案とするように指示がありました。

- ・エピジェネティクス先端研究拠点のオールジャパン型共同機構 [新規-35; 熊本大学 中尾光善]
- ・ヒトプロテオームプロジェクトへの日本の貢献: X 染色体 [新規-23; 新潟大学 山本 格]
- ・ヒトプロテオーム解読計画 [新規-34; 九州大学 中山敬一]
- ・プロテオゲノミクスを基盤とする慢性難治疾患研究拠点 [新規-13; 徳島大学 高浜洋介]

そのため、4 提案者が集まり、「ヒトプロテオゲノミクスネットワーク: ヒト生命と病気の解明を目指す研究体制の構築」として、再提案しました。

(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/021/siryo/attach/1321263.htm)

2月にそのヒアリングがありました。本プログラム案の予算化には研究者コミュニティの関与も重視されますので、日本プロテオーム学会の会員の皆様もぜひ本シンポジウムに参加し、本プログラムの内容の理解を深め、その予算化と実施、参加にご協力いただきたく、お願い申し上げます。

また、本学術研究シンポジウムの前に、「ヒトプロテオゲノミクスネットワーク:ヒト生命と病気の解明を目指す研究体制の構築」のプロテオミクス部分の中核でもある Human Proteome Organisation (HUPO)の Human Proteome Project の日本プロテオーム学会担当の「染色体 X プロジェクト」の紹介、進捗発表などを同じ会場、日本学術会議講堂で行いたいと思いますので、合わせてご参加をお願いします。詳細は後日、また、連絡致します。よろしくお願いいたします。

日本プロテオーム学会 会長 山本 格

【日本プロテオーム学会通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。ご意見を【日本プロテオーム学会通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】は、日本プロテオーム学会事務局 (cljhupo@secretariat.ne.jp)にお願いいたします。

学術研究プロジェクトシンポジウム

ヒトプロテオゲノミクスの現状と ロードマップによる推進

エピゲノムとプロテオームの統合によるヒトの生命と病気の解明

2012年7月28日(土)

13:00~17:00

日本学術会議講堂

(東京都港区六本木7丁目 22-34)

Program

- 13:00-13:05 開会の辞
- 13:05-13:15 文部科学省挨拶【予定】
- 13:15-13:35 ヒトプロテオゲノミクスネットワークの概要
高浜洋介(徳島大学)
- 13:35-14:00 エピジェネティクスの概要と国際研究体制
佐々木裕之(九州大学)
- 14:00-14:25 プロテオームの概要と国際共同研究計画
山本格(新潟大学)
- 14:25-14:50 疾患研究と今後のプロテオゲノミクス
塩見春彦(慶応義塾大学)
- 15:00-15:30 エピジェネティクスと生命・疾患研究
中尾光善(熊本大学)
- 15:30-16:00 プロテオームと疾患研究
中山敬一(九州大学)
- 16:00-16:30 プロテオゲノミクスによる疾患研究
田中啓二(東京都医学総合研究所)
- 16:30-16:40 総括

お問い合わせ

徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター
遺伝子実験施設(高浜)

TEL. 088-633-9452 FAX. 088-633-9453

E-mail: takahama@genome.tokushima-u.ac.jp

主催：九州大学(生体防御医学研究所)
熊本大学(発生医学研究所)

新潟大学(医歯学総合研究科附属腎研究施設)
徳島大学(疾患プロテオゲノム研究センター)

後援：日本エピジェネティクス研究会

日本プロテオーム学会